

科目名	人体の構造と機能及び疾病			ナンバリング	PSY631	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	山本佳子	担当教員	木村純子				

授業の概要	疾病や障害の生物学的な理解を深め、心理的支援の必要性などについて学ぶ ① 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害 ② がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病						
到達目標	細胞・組織・器官・器官系などの身体構造とその機能、疾病の基本的概念や障害概念について、身体機能と精神機能の関係を理解する。 また、闘病中の患者の心理状態を理解し、サイコオンコロジーや緩和ケア、終末期ケア(グリーフケアを含む)などについて、考察できるようにする。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)							
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①人体の正常構造と機能、加齢(身体、心理、精神機能の変化)についての概要を理解する ②主要な症候(めまい、倦怠感、呼吸困難等)や主要な疾病(循環器疾患、内分泌代謝疾患、呼吸器系疾患、神経疾患、筋・骨格系疾患、がん等)について概要を理解する ③難病・遺伝性疾患・脳血管疾患・循環器疾患・内分泌代謝疾患・依存症などの患者への心理的支援の必要性を理解する ④移植医療、再生医療、サイコオンコロジー<精神腫瘍学>、緩和ケア、終末期ケアなどの必要性を理解する	①人体の正常構造と機能、加齢(身体、心理、精神機能の変化)についての概要を説明できる ②主要な症候(めまい、倦怠感、呼吸困難等)や主要な疾病(循環器疾患、内分泌代謝疾患、呼吸器系疾患、神経疾患、筋・骨格系疾患、がん等)について概要を説明できる ③難病・遺伝性疾患・脳血管疾患・循環器疾患・内分泌代謝疾患・依存症などの患者への心理的支援の必要性を説明できる ④移植医療、再生医療、サイコオンコロジー<精神腫瘍学>、緩和ケア、終末期ケアなどの必要性を理解し、自分なりの考えを持つことができる

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○						60%
宿題・授業外レポート		○			○		30%
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	数回の授業ごとに、ミニテストを施行し、評価する。解答については授業内で説明を加える。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	人体の正常構造と機能 (木村)	人体の正常な構造やそれらの正常な機能について理解する	
	第2回	加齢(身体、心理、精神機能の変化) (木村)	加齢に伴う身体・心理・精神機能の変化について理解する	
	第3回	主要な症候(めまい、倦怠感、呼吸困難等) (木村)	人にとって主要なめまい・倦怠感・呼吸困難などの症候についてどのような状態を指し、どのような意味があるのかを理解する	
	第4回	主要な疾病(循環器疾患等) (木村)	主要な疾病の一つとして「循環器疾患」を取り上げ、その種類や症状、引き起こされる問題について理解する	
	第5回	主要な疾病(内分泌代謝疾患等) (木村)	主要な疾病の一つとして「内分泌代謝疾患」を取り上げ、その種類や症状、引き起こされる問題について理解する	
	第6回	主要な疾病(呼吸器系疾患等) (木村)	主要な疾病の一つとして「呼吸器系疾患」を取り上げ、その種類や症状、引き起こされる問題について理解する	
	第7回	主要な疾病(神経疾患等) (木村)	主要な疾病の一つとして「神経疾患」を取り上げ、その種類や症状、引き起こされる問題について理解する	
	第8回	主要な疾病(筋・骨格系疾患・がん等) (木村)	主要な疾病の一つとして「筋・骨格系疾患・がん」を取り上げ、その種類や症状、引き起こされる問題について理解する	
	第9回	身体と精神の関係 (山本)	身体と精神の相互関係について理解する	
	第10回	身体疾患に伴う精神症状に対して精神的ケアが必要な疾患 (山本)	がん・心疾患・糖尿病などを例に挙げ、身体疾患に伴う精神症状に対して必要な精神的ケアについて理解する	
	第11回	心身相関のはっきりした疾患(心身症) (山本)	過敏性腸症候群・消化性潰瘍・気管支喘息などの精神と関連が深い疾患と、そのケアの仕方について理解する	
	第12回	身体症状を呈する精神疾患 (山本)	不安障害やうつ病などの精神疾患でありながら身体症状を呈する疾患と、そのケアの仕方について理解する	
	第13回	器質性精神障害 (山本)	アルツハイマー型認知症・パーキンソン病・てんかんなどの器質性精神障害と、そのケアの仕方について理解する	
	第14回	症状精神病 (山本)	甲状腺機能亢進症・産褥期精神障害などの身体疾患でありながら精神症状が出る疾患とそのケアについて理解する	
	第15回	医学的治療と心理学的ケア (山本)	医学的治療として、多職種チームで対応する医療について理解し、公認心理師の役割について考える	
	試験	実施しない。		
授業の進め方		講義中心で行う		
授業外学習の指示		専門用語が多いので、復習を中心に行っておくこと (授業外学習時間: 毎週 60 分)		

教科書	特に指定しない
参考書	人体の構造と機能及び疾病,朝元美利,光文堂,2700円、新しい人体の教科書(下),山科正平,講談社,2180円、人体のしくみ,坂井建雄,池田書店,1728円、人体の構造と機能,内田さえ他,医歯薬出版株式会社,3024円、心理学概論,繁樹算男,遠見書房,2592円
参考URLなど	
その他	参考資料など、必要に応じて配布する